

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 038	提案機関名 いのち未来戦略本部室科学技術グループ
要望問題名 本県沿岸におけるブルーカーボン再生技術の開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本県沿岸では、かつて広い範囲に濃密な海藻群落（藻場）が分布しブルーカーボンを構成していたが、現在ではそのほとんどが磯焼けで消失している。そこで藻場の保全・育成を担う漁業資源となる海藻種や、CO ₂ 吸収効果が高い海藻種の生産技術、天然海域における藻類の育成・保護方法やモニタリング技術の開発、魚類等による食害対策等を進めていただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 藻場再生技術高度化試験		
対応の内容等	水産技術センターでは漁場保全のための磯やけ対策として早熟性カジメや漁業資源となるアカモク種苗を生産し、県内沿岸海域に移植する藻場再生技術開発を進めています。この取組により藻場が再生すれば海水中の二酸化炭素の吸収量は増え、ブルーカーボン貯留量は増大します。令和5年度には種糸大量培養施設の整備、現場海域への展開試験等を実施し、令和6年度からは、相模湾全域を対象として広域的に県内沿海漁協・漁業者、多面的活動団体、市町と協同して藻場再生対策を進めており、磯根漁場の回復に引き続き取り組んでいきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			